参考書式１　情報公開文書（浜の町）

(ver. 2017)

（西暦）　2026 年　10 月　19 日

【糖尿病】の【診断、治療】のため当院に入院されていた患者さんの診療情報を用いた臨床研究についてのお知らせ

はじめに

TyG index はインスリン抵抗性を評価するための指標で動脈硬化のリスクにも繋がると言われており、糖尿病患者において TyG index と血漿アルドステロン濃度との関連を評価して動脈硬化による合併症との関連を評価することを目的とする。

対象

西暦 2019 年 4 月 1 日より 2026 年 9 月 30 日までの間に、【糖尿病・内分泌内科】にて【糖尿病】の【診断、治療】のため【入院】し、【診療、検査】を受けた方

選択基準：

2019 年 4 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日までに浜の町病院糖尿病・内分泌内科で糖尿病に対する入院加療を受け、血中アルドステロン、及び TyG index の算出に必要な検査値が得られた 2 型糖尿病患者

除外基準：

1 型糖尿病患者

【試料・診療情報等の項目】

診療情報等：

■年齢　■性別　■身長　■体重　■BMI　■血圧
■病歴　□既往歴　□飲酒歴　■喫煙歴　■薬剤歴【治療薬、投与量、治療開始日等】
■診療検査データ【HbA1c, 空腹時血糖値, 中性脂肪, LDL コレステロール, HDL コレステロール, Cr, eGFR, Na, K, アルドステロン, レニン活性, 尿中アルブミン/Cr】
■画像データ【頚動脈エコー、脈波、心エコー】
□有害事象【副作用、合併症の発生等】
□その他【　　】

【試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法】

本研究で使用される診療情報等は他機関への提供は行いません。（浜の町病院のみで使用の場合）

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、浜の町病院糖尿病・内分泌内科堀内俊博までご連絡をお願いします。

研究課題名：糖尿病患者における TyG index と血漿アルドステロン濃度の関連についての検討

研究内容：当科に入院した糖尿病患者において、TyG indexと血漿アルドステロン濃度との関連、及び合併症などとの関連について検討する。具体的には、診療録、入院中の血液・尿検査、エコー、脈波の検査所見を閲覧して、データを解析して評価する。

個人情報の管理について

1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。

2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第３者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、

研究終了時に【または倫理委員会に承認された破棄時点で】完全に抹消します。
4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。【これと異なる扱いをする場合は具体的に詳述のこと】

研究期間

病院長承認日～　2027 年 10 月 30 日（予定）

医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受け取ることができる利益はありません。しかし、本研究によりバセドウ病の寛解に至るまでの経緯に関する要因が明らかになる事により、新たな知見が得られることで科学への貢献が為され、社会への貢献が達成されると考えられます。

研究実施機関

国家公務員共済組合連合会　浜の町病院【診療科・部門名】
（他に共同研究機関があれば記載のこと）

【当院での研究責任者】所属　糖尿病・内分泌内科　職名　部長　氏名　堀内　俊博

お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

浜の町病院糖尿病・内分泌内科　堀内 俊博
連絡先 電話番号:080-5943-4048　対応する時間帯：平日 15 時～17 時

Mail:horiuhic-t@hamanomachi.jp

以上